



# 修徳橋

〈笑顔 元気 想像・創造〉

令和7年 9月10日 No.9

市川三郷町立六郷小学校学校だより  
市川三郷町岩間 2917  
電話：0556-32-2004  
<http://www.rokugo-sho.ed.jp/>  
発行・文責 校長 望月 基希



HP アドレス

## 六郷小学校の学力・学習状況について

全国学力・学習状況調査が、4月17日(木)に全国の小中学校で一斉に実施されました。本校でも6年生の児童が参加しました。今年度は国語・算数・理科の3教科についての調査を実施しました。この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることと、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。本校でも結果発表後すぐに調査結果の分析を行い、8月の校内研究会において全教職員で確認し、2学期から全校体制で指導改善の取組を始めています。分析結果の概要をお伝えします。

※ 六郷小の平均正答率は、国語・算数・理科ともに全国・県平均をやや下回る結果となりました。以下に全国・県平均との比較をもとにした考察を載せました。

## 1 調査問題から見る本校の成果と課題

### 〈国語〉

#### 【成果】〈良くできていたもの〉

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合う内容を考えること。
- ・話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。
- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

#### 【課題】〈できなかつたもの〉

- ・複数の文章や資料をもとに、共通点や違いを比べながら読むこと。
- ・資料を根拠にして、自分の考えを整理し、相手にわかりやすく伝えること。
- ・文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

#### 【国語における主な改善策】

- 大事な言葉や文に印を付けたり、矢印を書き込んだりしながら情報と情報を結びつけ、整理しながら読むようにする。
  - ・どのような図表やグラフを用いるとよいか、それぞれの特徴などを児童と一緒に確認したり、図表から読み取れる情報を一緒に確認したりする。
- 自分の考えをもつ活動と、それを伝える活動をつ

なげる。

- ・「〇〇について自分はこう思う。なぜなら〜」という形で、意見とその理由をどこの文章から読み取ったかわかるよう、明確に書かせる練習を重ねる。

○新聞などの短い文章を読んで、要約し、感想をまとめる。

- ・他者にわかるようにまとめることが難しい場合もあるので、理解したことと考えたこととの関係がわかるように型をつくる。また、書くことの学習では、友達と助言し合いながら、自分の書いた文章を何度も見直したり、書き直したりできるようにする。

### 〈算数〉

#### 【成果】〈良くできていたもの〉

- ・目的に応じて適切なグラフを選択し、増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
- ・角の大きさについて理解すること。

#### 【課題】〈できなかつたもの〉

- ・複数の数量や条件を比べて、どのように計算すればよいかを判断すること。
- ・図形の特徴について理解すること。
- ・割合、分数など、複雑な数の関係を具体的にイメージしてとらえること。

#### 【算数における主な改善点】

- 答えの根拠や理由となることを省かずに記述させたり、教師から問うたりする。
  - ・途中の式を書かせる。式の意味を問う。考えたことをペアで話し合いながら共有させる。
- 公式や答えを導き出す過程を明らかにさせる。
  - ・公式を言葉で覚えさせるのではなく、意味を理解させる(図や言葉と関連させる)。
- 表や図に表し、視覚的に整理する力をつける。
  - ・数字だけではイメージしづらい数に対して、数直線や図を用いて、関係性を理解させる。

### 〈理科〉

#### 【成果】〈良くできていたもの〉

- ・実験において異なる条件での結果を予想すること。
- ・身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引きつけられるものを区別すること。
- ・乾電池の直列つなぎのつなぎ方。
- ・温度によって水の状態が変化すること。

- ・温度による水の体積の変化をもとに、結果を予想し表現すること。

### 【課題】 <できなかったもの>

- ・電気回路のしくみ。
- ・ヘチマの発芽や受粉に関すること。
- ・観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつこと。

### 【理科における主な改善点】

- 観察、実験の結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設定していく。
  - ・結果を具体的な数値として共有し、結論の根拠を明らかにしながら考えをつくりだしていく。
- 友達の考えを聞き、自分の考えを深め・広げる活動を行う。
  - ・話し合いを通じて説明の仕方を洗練させていく。
- 学習で学んだ視点で日常生活を振り返ってみることも取り入れる。
  - ・「今回の学びがどう使えるか？」を考えさせ、定着に繋げていく。

正答率が低かった児童については、無回答が多く見られました。正しい知識及び技能を身に付けられるように、より一層丁寧に指導していきたいと思えます。記述式の問題では、正答条件を満たしていないものもありましたが、無回答率は低く、何とか自分の考えを書こうとしている姿勢が見られました。日頃から、あきらめずに課題に取り組んできた成果だと思われま。一方で、資料の分量の多さから、問題の意味を理解し、適切に資料を見て、条件に合った答え方ができていない児童が多かったです。問題を解くにあたり必要箇所へ印をつけながら読んだり、書いた後に、条件を満たしているかを確認したりするなど、粘り強く問題に向き合うことを引き続き指導していきたいと思えます。

## 2 質問紙調査から明らかになった本校児童の特徴と改善点

- ①自己有用感が高い。
  - ・人が困っているときは進んで助けている。
  - ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。

人に対して優しく接したいという気持ちが強いことが伺えます。お互いが気持ちよく生活できるように少しずつ周囲に対しての気配りができています。

- ②学習に対して意欲的。
  - ・算数の勉強が好き。
  - ・理科の勉強が好き。
  - ・1日あたりの家庭学習の時間が多い。

算数、理科に関してはそれほど苦手意識が強いわけではなく、好む傾向にあります。また、家庭での学習時間もある程度確保できていました。

- ③安心して学校へ通うことができている。
  - ・学校に行くのが楽しい。
  - ・友だち関係に満足している。
  - ・困ったことや不安なことがある時に先生や大人にいつでも相談できる。

学校が安心できる場所となっています。また、友達関係に不満を抱えている児童も少なく、良好な関係を築くことができている。

- ④タブレット端末の操作能力が高い。
  - ・タブレットなどのICT機器をよく使っている。
  - ・インターネットを使って情報を集めたり整理したりすることができる。
  - ・タブレットなどを使って自分のペースで楽しみながら学習を進めることができる。

タブレットの使用率が高く、操作能力も全体的に高いです。これからも積極的に活用し、効果的に学習を進めていきたいと思えます。

- ⑤国語への苦手意識が強い
  - ・国語の勉強があまり好きではない。
  - ・読書があまり好きではない。

音読が苦手な児童が多く、文字への負担感や抵抗感が強いように感じます。音読や読書活動をより一層取り入れて苦手意識を軽減していきたいと思えます。

- ⑥思考を深めたり整理したりする力が弱い。
  - ・自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることや分かった点、分からなかった点を見直し、次の学習につなげることが苦手である。

自分の考えを言語化する経験が足りないので、比較しながら考えを聞いたり話したりするような習慣付けを図っていききたいと思えます。

## 3 まとめ<今後の取組へ向けて >

この調査で明らかになった課題は全学年で共有し、指導に活かしながら改善を進めていきます。各ご家庭におかれましても、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。